

ドライブレコーダー ZDR018

取付説明書 / 取扱説明書 / 保証書

保証書

コピー不可

保証規定 (必ずお読みください)

保証期間	ご購入日より3年間
対象部品	フロントカメラ/リヤカメラ ※消耗部品および付属品は除く

1. 保証の内容
保証書の内容に従った使用方法で不具合が発生した場合、この保証書に示す保証期間と条件に従って無償修理(保証書)を受けることができます。
(以下、この無償修理を無償修理とします)
保証修理は部品の交換あるいは製品の交換により行います。ただし保証対象品の生産中止等により、修理、交換ができない場合は、弊社指定の他部品と交換させていただきます。

また交換された部品、製品は弊社の所有となります。この保証規定による保証修理の対象は本書記載の対象品に限ります。
※本製品は全ての映像を記録することを保証するものではありません。
2. 保証修理の受け方
保証修理をお受けになる場合、お買い上げいただいた販売店にこの保証書をご持参の上、保証修理をお申し付けください。ご受け取りの際は、保証修理をお受けたい旨を、なお、販売店がこの保証書ご購入日の証明をされていない場合は、お客様のご購入日を確定できる書類(レシートなど)をお持ちください。

販売店に製品を送り付ける場合、この保証書を製品に添えてお送りください。製品を送付される場合、宅配便など送料がかかる方法をお願いいたします。
※送料などの運賃費用、引取りに伴う出張費はお客様の負担となります。また送料負担にて発送された場合、弊社からお客様に送料にて返送させていただきます。あらかじめご了承ください。

3. 保証しない事項
1) 保証期間内でも次のような場合には保証修理いたしません。
(1) 取扱説明書に記載されていない「悪意・過失・ご使用上におおきなその他の記述内容をご注意」があったことによる故障または損傷。
(2) 車両ドライブレコーダー以外の用途(例えば、住居・船舶・建設機械等)で使用したことによる故障または損傷。
(3) 指定以外(DC12V)の電源で使用した場合、および電源の逆接続などによる故障または損傷。
(4) 弊社とは無関係な第三者の取扱い等による破損、修理、交換、修理・経路・分解したの、改造したの。
(5) お買い上げ後の落下・衝撃・水濡れ・結露などによる故障または損傷。

4. 保証の発効
保証書に必要事項を記入、捺印することにより有効となります。本書は再発行いたしませんので遺失しないよう大切に保管してください。

5. 保証の適用
この保証書は日本国内で使用されている場合のみに適用いたします。
(This warranty is valid only in JAPAN)

6. その他
この保証書は本書に明示した期間、条件のものにおいて保証修理をお約束するものではありません。この保証書によって保証書が発行している(保証責任)および、それ以外の事業者に対するお客様の法的な権利を制限するものではありません。保証期間満了後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問合せください。

保証書

本書は保証規定に明示した条件のもと、無償修理を行うことを約束するものです。保証期間中に、正常なご使用状態で万一故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。

品番	ZDR018	シリアルNo.	
お買い上げ年月日	お買い上げ日 西暦 年 月 日		
保証期間	お買い上げ日から3年		
対象部分	フロントカメラ/リヤカメラ ※消耗部品および付属品は除く。		
お客様		販売店	
お名前	様	店名	住所・電話・捺印
ご住所	-		
〒			
電話番号	-		

※本製品に記入された印が不明の場合、必ず販売店発行の領書(購入年月日、店名)を証明する必要があります。また、領書がない場合は保証書をお受けたい旨を、なお、販売店がこの保証書ご購入日の証明をされていない場合は、お客様のご購入日を確定できる書類(レシートなど)をお持ちください。

製品のお取付方法、修理等に関するご相談は、お買い上げ頂いた販売店または下記弊社サービスセンターまでお問い合わせください。ただし、お客様ご自身の取付作業に対するリポートは行っておりません。

0800-200-5654
受付時間 10:00~17:00
※土・日・祝日および、年末年始・夏季休暇・GW等、弊社指定期間を除く。
※非通話設定ではお繋ぎできません。恐れ入りますが電話番号の前に「1861」をつけるなど、電話番号を通知していただきます。
※携帯電話や公衆電話、050から始まるIP電話からはご利用いたしません。また、一部の光電話からもご利用いただけません場合があります。その際は下記番号よりおかけください。
0561-56-1814 (有料)

株式会社Eコマーステクノ
〒470-0151 愛知県愛知郡東郷町大字諸輪字池上1-1
HP: https://www.e-comtec.co.jp

警告

異物が入ったり、煙が出ている、変な臭いがあるなど異常な状態では使用しないでください。発火して火災の原因となります。

運転の妨げになる場所には取付けしないでください。事故の原因となります。

エアバッグの展開場所には取付けしないでください。万一エアバッグが作動した場合は、怪我の原因となります。また、配線等によりエアバッグの動作不良を起こす原因となります。

microSD カードは子供の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んでしまうおそれがあります。

取付けネジの緩み、両面テープの剥がれなどないが、定期的な点検を行ってください。運転の妨げや事故の原因となることがあります。

注意

気温の低いところから高いところへ移動すると、本製品内に結露が生じることがあります。故障や発熱などの原因となりますので、結露したまま使用しないでください。

本体の通気孔を塞がないでください。内部に熱がこもり、故障の原因となります。

本製品を下記のような場所で保管しないでください。本体の変色や変形など故障の原因となります。
・直射日光が当たる場所や真夏の炎天下など温度が非常に高い所。
・湿度が高い所やほこりの多い所。

microSD カードを本製品に挿し込む場合、挿し込み方向間違えないでください。故障や破損の原因となります。

本製品は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取扱いをするとデータの破損、故障の原因となります。
・本体に静電気が電圧/ノイズが加わった場合。
・本体を水に濡らしたり、落としたり、強い衝撃を与えた場合。

一部の運転支援システム装着車の場合、取付け位置によっては制動に影響を及ぼすおそれがあります。取付け前、車両の取扱説明書をご確認ください。

ご使用上のご注意

●本製品は全ての映像を記録することを保証するものではありません。あらかじめご了承ください。
●本製品は事故発生時の参考資料として使用することを目的とした製品です。完全な保証を保障するものではありません。
●本製品は車載用ドライブレコーダーとして設計されています。それ以外の用途には使用しないでください。またそれ以外の用途で使用した場合の不具合等に関しては一切の責任を負いかねます。

●本製品は使用方法によりプライバシーなどの権利を侵害するおそれがありますのでご注意ください。またイタズラなどの目的で使用しないでください。これらの場合については、弊社は一切の責任を負いかねます。

●事故発生時は記録された録画データが書ききれないように、必ず microSD カードを抜いて保管してください。

●microSD カードの抜き押しを行う際は、必ず車両キーをスイッチを OFF にし、本製品の LED が完全に消灯したことを確認後、microSD カードを抜いてください。microSD カードへのデータ書き込みおよび読み込み中に microSD カードの抜き押しを行うと、データ破損やデータ消失、microSD カード故障の原因となりますのでご注意ください。

●microSD カード内に本製品以外のデータを入れないでください。動作が不安定になることがあります。

●本製品を使用中にデータが消失した場合は、データの保証は一切の責任を負いかねます。

●万一のデータ消失に備え、必要なデータはパソコンに転写して保存しておく必要があります。

●本製品は動作温度範囲外で使用すると、正常に動作しない場合や、映像が正確に記録されない場合があります。

●真夏などの炎天下の中で使用する場合、液晶画面の表示を行わない、または録画できなくなる場合があります。特に夏場は車内が高温になるため、窓を開けると車内の温度を下げてからご使用ください。

●本製品の動作中、本体表面が熱くなることがあります。異常ではありません。

●LED 式信号機は LED が高速で点滅しているため、信号機が点滅しているような映像が記録される場合があります。また逆光や信号機自体の輝度が低い等により、信号機の色が識別できない場合があります。信号機の識別、記録に関する内容については弊社ホームページの責任を負いかねます。

●本製品は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや影が生じることがあります。また実際の遠近とも異なります。これは広角レンズの特性であり、異常ではありません。

●リヤガラスにスモークフィルムが貼られた車両(純正プライバシーガラス装着車除く)や夜間の明かりが強い場所などでは、後方の道路状況が見えない映像が記録されることがあります。あらかじめご了承ください。

●一部熱帯ガラス(金属コーティング、金属粉入りなど)、一部熱帯取ガラス、一部のミラー式フィルム装着車の場合、GPS 衛星からの電波が受信できない場合があります。

●窓ガラスは地上ドライブレコーダーと比べて曇りやすくなる場合があります。

●Windows のアップデートや Google マップの仕様変更などにより、ビューソフトで地図が表示できないなど、正常に動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。

●本製品にはお買い上げの日から3年間の製品保証がついています。(ただし microSD カード、両面テープ、本体内部バッテリー等の消耗品およびその他付属品は保証の対象となりません。)

●本製品は動作安定性向上のため、ソフトウェア(ファームウェア)のアップデートプログラムを弊社ホームページで公開する場合があります。定期的に弊社ホームページをご確認ください。常に最新のバージョンにて使用を推奨いたします。※アップデートプログラムのダウンロードにかかる通信費やアップデートに関する作業はお客様の負担となります。

●本製品を船舶、航空機、バイク、自転車など使用しないでください。

●本製品は DC12V 車専用です。

●本製品は日本国内でのみ使用できます。海外では使用できません。

●部品の交換修理、パーツ購入に関しては販売店にお問い合わせください。

●本製品の改修による付随品の発出は弊社では一切行っておりません。

●本製品の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

万一の事故発生時に映像が記録されていなかったり、記録した映像が破損した場合など、本製品の動作が無にかかわらず一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

知っておきたいこと

●GPSとは
「Global Positioning System」アメリカ国防総省の衛星を利用して、地上での現在位置を測定するシステムです。

●衛星データ
本製品は、一旦GPS衛星を正常に受信した後、衛星の移動軌跡を計算し記憶します。これは走行開始から終了までの衛星受信ができなくなった場合、再接受信するまでの処理を早めることができます。また、まれにGPS 受信が長時間に渡ってできない場合があります。

●GPS 衛星受信と車載電子機器
ナビゲーション本体や、地デジチューナーおよび衛星放送受信機などの車載電子機器からの漏れ電波により、GPS衛星を受信できないことがあります。そのような場合、車載電子機器から離しGPS衛星の受信に影響のない箇所へ本製品を取付けてください。

●GPS の測定誤差について
本製品のGPS機能は衛星の受信状態などにより、約50m程度の測定誤差が出る場合があります。

●GPS の速度表示について
GPSでの速度計測は、車両スピードメーターの速度計測方法と異なるため、表示される速度に差が出る場合があります。

●液晶ディスプレイについて
液晶ディスプレイは99.99%以上の有効な画素がありますが、一部点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

●液晶ディスプレイは周囲の温度が約75℃以上になると液晶ディスプレイの全体が黒くなったり、約10℃以下になると画像が歪んで表示されたり、表示された画像が消えるのに時間がかかったりします。これは液晶ディスプレイの特性であって故障ではありません。周囲の温度がディスプレイの安定動作する温度になると元の状態に戻ります。

●日時情報保持用の内蔵バッテリーについて
本製品は日時情報を保持するために本製品内部にバッテリーを搭載しています。
・初めて使用する場合や長期未使用(6ヶ月以上)の場合は、1時間ほど走行し内蔵バッテリーの充電を行ってからご使用ください。
・内蔵バッテリーは消耗品のため充電を行っても日時情報がリセットされる場合は、裏表紙記載の弊社サービスセンターまでご相談ください。内蔵バッテリーの交換に関してはお預かり修理での対応となります。

microSD カードの取り出し方について

microSD カードを取り出すときは、車両キーをスイッチを OFF にして、一度 microSD カードを軽く押し込み、少し飛び出してきたら引き抜いてください。また挿入するときは、「カチッ」と音が鳴るまで押し込んでください。



※ 挿入する時は逆の手順で行なってください。また必ず液晶側に microSD カードのロゴが見えるように挿入してください。逆向きに無理矢理挿入すると破損します。

注意

●本製品が動作中、通気孔付近やレンズ、SDカードスロット周辺、SDカードは特に高温になりやすいため、触れる際はご注意ください。

●本製品が動作した状態(駐車監視モード中含む)で microSD カードの抜き押しを行わないでください。microSD カードの破損や録画データの破損の原因となります。必ず車両キーをスイッチを OFF 後、本製品の LED が完全に消灯したことを確認し、microSD カードの抜き押しを行ってください。

●駐車監視モード動作中は駐車監視モードを終了させ、取り出しを行ってください。

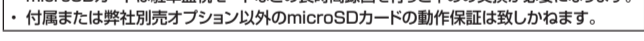
●microSD カードは駐車監視モードなどの長時間録画を行うと早めの交換が必要となります。

●付属品または弊社別売オプション以外の microSD カードの動作保証は致しかねます。

リセットスイッチについて

本製品が動作しなくなったり、誤動作を起こした際は、本体のリセットスイッチを先の細い物で押し、本製品のシステムを再起動してください。

※ リセットスイッチを押しても、設定や記録された映像は消去されません。



梱包内容

・ご使用いただく前に、以下の梱包内容が揃っていることをご確認ください。
・万一不足している物があったり、取扱説明書に乱丁、落丁があった場合は、弊社サービスセンターにご連絡ください。



ZDR018 フロントカメラ リヤカメラ

付属品
カメラケーブル (約9m) シガープラグコード (約4m/1Aヒューズ内蔵) microSD カード (32GB/1枚)

取付ステー固定用両面テープ (1枚) リヤカメラ固定用両面テープ (1枚) 脱脂用クリーナー (1枚) 取扱説明書 (本書/2枚)

※ 出荷時本体にセットされています。

※ 取扱説明書のイラストと実際の製品とは形状が異なる場合があります。

注意

・microSD カードは消耗品であり、約2~3年を目安に交換することをお勧めします。

・microSD カードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。

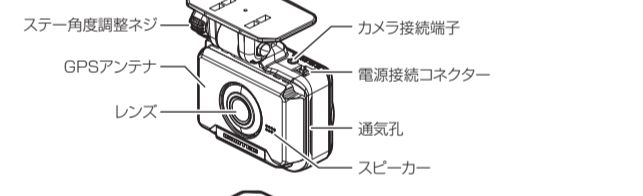
・microSD カードは駐車監視モードなどの長時間録画を行うと早めの交換が必要となります。

・付属品以外の microSD カードの動作保証は致しかねます。

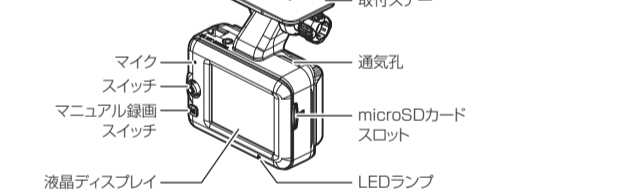
別売オプション品の詳細については、弊社ホームページをご確認ください。

各部名称

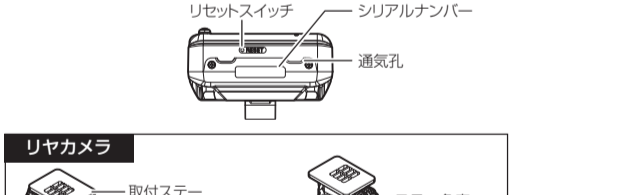
■フロントカメラ



■フロントカメラ下部



■リヤカメラ



日時を設定する

車両に本製品を取付ける前に日時設定を行ってください。
※ GPS衛星を受信すると自動的に日時を設定します。

■アドバイス

・GPS 衛星を受信すると自動的に日時が設定されますが、GPS 衛星を受信しにくい場所では、あらかじめ手動で日時を設定することをおすすめします。

・お買い上げ時やオールセットを行なったあとなど、日時情報および録画データが保存されていない場合、本製品の電源を ON にするたびに、日時設定確認画面が表示されます。GPS 衛星を受信するか、手動で設定を行ってください。設定を行っても繰り返し表示される場合は、弊社サービスセンターまでお問い合わせください。

■設定方法

1) 録画画面上でスイッチを長く押し込み、【メインメニュー】を表示する。
※ 60秒間スイッチ操作を行わないと録画画面に戻ります。

2) スイッチを【▼】方向へ1回押し、【機能設定】を選択してスイッチを短く押し込む。

3) スイッチを【▲】方向へ4回押し、【日時設定】を選択してスイッチを短く押し込む。

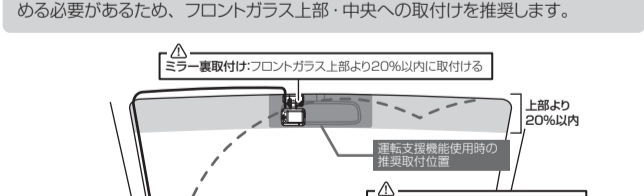
4) スイッチを【▲】または【▼】方向へ押し、日付表示部または時間表示部を選択してスイッチを短く押し込む。

5) スイッチを【▲】または【▼】方向へ押しして設定し、スイッチを短く押し込み次の項目に移動します。内容を変更後、スイッチを短く押し込みで決定します。
※ 「押」を入力したあとの確認画面でスイッチを押しした時間を0秒として時間が設定されます。

取付位置を確認する

本製品を取付ける際は保安基準に適合させるため、必ず下図および注意事項を確認のうえ取付けを行ってください。

運転支援機能を使用する場合、ボンネットを録画映像の下部から25%以内に取める必要があるため、フロントガラス上部・中央への取付けを推奨します。



注意

・フロントガラスへの取付けは、道路運送車両法に基づく保安基準によりフロントガラス上部より20%以内に設置するよう、設置場所が限定されています。
※道路運送車両法の保安基準第29条(窓ガラス)、細目告示第195条および別添37「ドライブレコーダー」本体が運転者の視界の妨げにならないよう取付けを行ってください。その際シラーや干渉しない位置に取付けてください。

・ダッシュボードへ取付けの場合は、道路運送車両法に基づく保安基準に適合させるため、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。

※道路運送車両法の保安基準第21条(運転席)、細目告示第183条および別添29「ワイパーの可動範囲外に取付けること」およびフロントガラスの汚れ、雨天時の水濡れなどにより記録した映像が見づらくなるため、ワイパーの可動範囲内に取付けることをおすすめします。

・地デジやETC等のアンテナ近くには設置しないでください。

・衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がカメラミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取付けを行ってください。

・誤作動を起こす可能性があるため、本製品の近くにGPS機能を持つ製品やVICS受信機を設置しないでください。

・本製品を車検シールの下に貼らないでください。

・車両のフロントガラスや本製品のカメラ部分に汚れがあると、十分な映像が記録できない可能性があります。

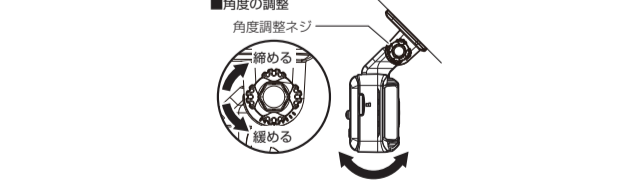
・フロントカメラの取付位置(フロントガラスまたはダッシュボード)により衝撃の伝わりやすさは異なるため、取付位置を変更した場合は必ずセンサー設定を見直してください。

・フロントカメラのレンズ側に遮光材があるとGPS衛星からの電波が受信できなくなります。取付位置には十分注意してください。

フロントカメラを取付ける

本書ではフロントガラスへの取付けを例に説明を行います

1) ステアの角度調整ネジを緩めた状態で仮固定し、取付角度を調整します。調整後には角度調整ネジを締めます。



注意

・必ず角度調整ネジを緩めた状態で角度調整を行ってください。破損の原因となります。

・角度調整後は角度調整ネジを確実に締めてください。緩いと走行中に外れるおそれがあります。

・角度調整ネジを強く締めすぎると破損するおそれがありますのでご注意ください。

・定期的なネジの緩みがないか点検を行ってください。

■アドバイス

・画面表示設定を【OFF】にしている場合、スイッチを押すことで液晶が30秒間再表示されます。

・カメラレンズに付着してしまうとレンズが曇り、映像の焦点がズレてしまうので、取付ける際はレンズに触れないようご注意ください。

はじめに

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するため、必ずお守りください。

また注意事項は誤った取扱いをした時に生じる危害や損害の程度を、「警告」と「注意」の2つに区分して説明しています。

警告 この表示は「使用者が死亡や重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

注意 この表示は、「使用者が傷害や物的損害を被る可能性が想定される内容」を示しています。

本書で使用している記号について

この記号は、してはいけない「禁止」内容を示しています。

この記号は、しなければならぬ「強制」内容を示しています。

この記号は、気をつけて頂きたい「注意」内容を示しています。

アドバイス 本製品に関する補足情報を説明しています。

長押し スイッチを2秒程度長めに押すことを示しています。

警告

運転中は走行中に本製品を操作しないでください。わき見や前方不注意により交通事故の原因となります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行なってください。

本製品を水につけたり、水をかけたり、また濡れた手で操作しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

本製品を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車両の故障の原因となります。

本製品を医療機器の近くで使用しないでください。医療機器に影響を与えるおそれがあります。

穴やすき間にピンや針金を入れないでください。感電や故障の原因となります。

microSD カードについて

・付属の microSD カードは本機専用です。
・本機を使用するときは、microSD カードが必要で
・本機の対応 microSD カードと付属 microSD カードは以下の通りです。
※対応 microSD カード: 8GB~128GB (Class 10 推奨)
※本機付属 microSD カード: 32GB (Class 10)

・microSD カードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。1日2時間程度使用する場合は約2~3年を目安に交換することをおすすめします。また、使用状況により microSD カードの寿命は短くなります。

※寿命が短くなった microSD カードはパソコンでも読み込みができなくなるなど、正常に動作しなくなります。

・本製品使用時は付属または別売オプションの microSD カードを使用してください。弊社製品以外の microSD カードとの相性による動作不良については一切の責任を負いかねます。

・microSD カードの寿命が近くなると、起動時に microSD カードの交換推奨時期であることをお知らせします。microSD カードの寿命により映像の記録ができなくなる前に早めに microSD カードを交換することをおすすめします。

・microSD カードをフォーマットすることと記録されたデータがすべて消去されます。

本製品のファイルシステムについて

・本製品はドライブレコーダー向けに開発された専用ファイルシステムを採用しています。通常パソコンなどで使用されているファイルシステム(FATなど)に比べ、保存データの破損が少なく、万一記録データが破損しても復元する確率が高いファイルシステムです。

・本製品の専用ファイルシステムは記録と削除の繰り返しによる microSD カードの断片化が起こらないファイルシステムとなっているため、microSD カードを定期的にフォーマットせずに行うことができます。

・本機で記録したデータをパソコンなどで削除を行っても、本機に戻すと復元されます。初期化したデータを削除する場合は、本体の機能設定メニュー内(SDカードの初期化)より初期化を行ってください。

・パソコンなどでフォーマットを行なった microSD カードを本機へ挿入すると(SDカードの初期化)確認画面が表示されますので、そのまま使用の場合は初期化を行ってください。

本製品は microSD カードを定期フォーマットせずご使用いただけますが、microSD カードは消耗品のため、その特性上、フォーマットしていただいた方がより長く使用することができます。

取付け方法

取付手順を確認する

下記手順を参考に取付けを行ってください。

車両にシガープラグコードを接続する

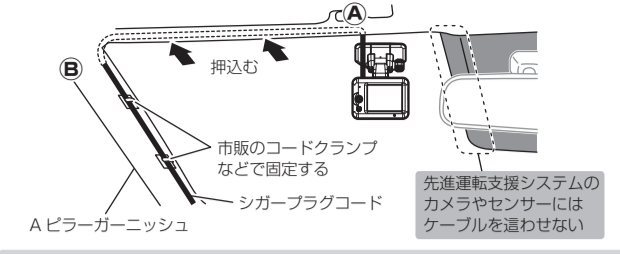
日時を設定する

車両に本製品を取付ける

動作を確認する

① シガープラグコードの配線の取回しを行なってください。

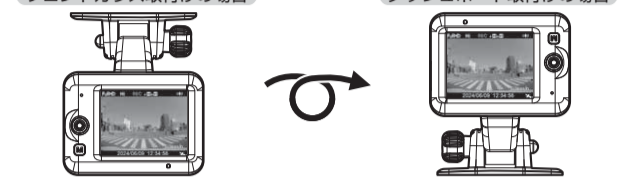
- ・A部はルーフライン内に押し込んでください。
- ・B部は市販のコードクランプなどでAピラーに貼り固定してください。
- ※カーテンエアバッグには固定しないでください。カーテンエアバッグ作動不良のおそれがあります。



- ・運転の妨げにならないように、市販のコードクランプなどを使用し、配線の取回しを行なってください。
- ・地デジやラジオ、ワイパー、ETC等のケーブルと一緒に束ねないようにしてください。
- ・先進運転支援システムのカメラやセンサーなどへケーブルを近づけて配線を行わないでください。
- ・ケーブルの余長を車両 ECU やプロアモーターなどの付近へ束ねないでください。各装置より離して余長処理を行なってください。

■ダッシュボードに取付ける場合

本製品は内蔵の G センサーにより自動で上下を判別し、液晶表示が反転します。

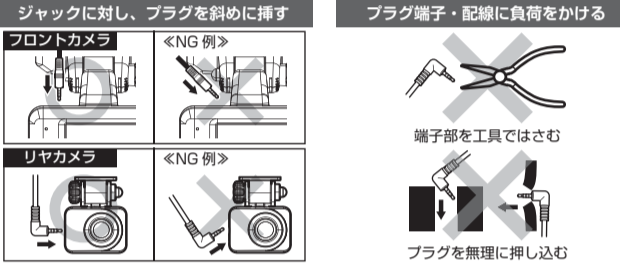


カメラケーブルを配線する

- ※ 本書ではフロントガラス/リヤガラスへの取付けを例に説明を行います。
- 1) カメラケーブルの配線の取回しを行なってください。
- ※ 運転の妨げにならないように、市販のコードクランプなどを使用し、配線の取回しを行なってください。
- ※ 地デジや ETC 等のコードと一緒に束ねないようにしてください。

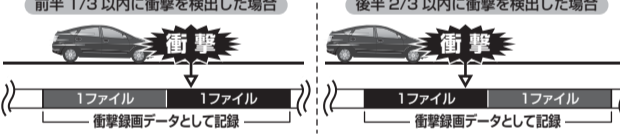
カメラケーブル施工時の注意について

カメラケーブルを抜き挿しする際はプラグ部に荷重がかからないようにまっすぐに抜き挿ししてください。



■衝撃録画データ / 駐車監視衝撃録画データ / 駐車監視衝撃クイック録画データ

- ・本製品内蔵の G センサーが設定値以上の衝撃を検出すると、衝撃を検出した時点のファイルおよび前または次のファイルを「衝撃録画データ」として記録します。また、駐車監視モード中に衝撃を検出した場合は「駐車監視衝撃録画データ」として記録します。
- ・駐車監視モード中の録画方式を「衝撃クイック録画」に設定した場合、通常時は動作を停止 (スリープ) しています。衝撃を検出すると起動し、起動後の 2 ファイルの映像を記録後、再度動作を停止 (スリープ) します。
- ・G センサーの感度は設定により感度調整することができます。



■衝撃クイック録画 (駐車監視モード)

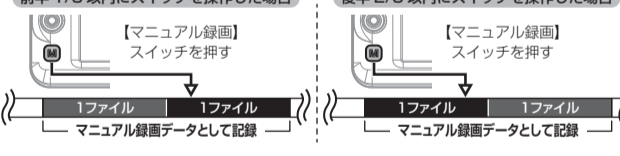
衝撃検出後に起動し、録画を開始するため、衝撃を検出した瞬間の映像は記録できません。

動作停止 → 1ファイル → 1ファイル → 動作停止

起動 → 1ファイル → 1ファイル → 停止

■マニュアル録画データ

- ・本製品の【マニュアル録画】スイッチを押すと、スイッチを操作した時点のファイルおよび前または次のファイルを「マニュアル録画データ」として記録します。



⚠ 注意

- ・自動車の機能の妨げになる場所やエアバッグの展開範囲には取付けないでください。エアバッグ作動時に本製品が乗員に当たるおそれがあります。
- ・ダッシュボードの形状や素材によっては貼り付きにくい場合があります。また、経年劣化等により両面テープを剥がす際に貼付面が破損するおそれがありますのでご注意ください。そのようなことが予想される場合、ルームミラー裏側フロントガラスへ取付けを行なってください。

高温注意

ダッシュボードへの取付けはダッシュボードの熱が伝わり、「高温注意 本体温度が高いため 録画・再生機能を停止します。」のメッセージ表示がフロントガラスへの取付けに比べ出やすくなります。頻りに表示される場合はフロントガラスへの取付けをおすすめします。

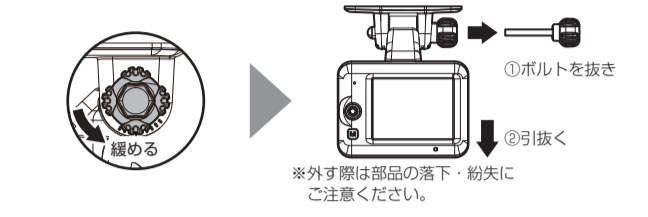
※メッセージ表示中は録画をおすすめしません。本体温度が下がるまでお待ちいただき、再起動を行なってください。

⚠ アドバイス

- ・画面の上下方向は起動時に判別しているため、使用中にフロントカメラを反転しても画面は反転しません。その場合は、再起動を行なってからご使用ください。
- ・ダッシュボード取付けの場合はカメラケーブルの L 字側端子をフロントカメラに接続してご使用ください。

■本体を取外す

角度調整ネジを緩めて、本体を引抜き取外します。



⚠ 注意

- ・取付後は角度調整ネジを確実に締めてください。緩いと走行中に外れるおそれがあります。
- ・角度調整ネジを強く締めすぎると破損するおそれがありますのでご注意ください。
- ・定期的なネジの緩みがないか点検を行なってください。

- 2) リヤカメラのカメラ接続端子に付属のカメラケーブルを「カチッ」と音がなるまで挿込み接続します。



⚠ アドバイス

- ・本体をダッシュボードに取付ける場合は、カメラケーブルの L 字側端子をフロントカメラに接続してご使用ください。
- ・フロントカメラをフロントガラスに取付ける場合、カメラケーブルの接続方向に指定はありません。設置する箇所の状況によって、最適な方向で取付けを行なってください。

- 3) フロントカメラのカメラ接続端子にカメラケーブルを接続します。



⚠ アドバイス

- 録画面面の表示はスイッチを【◀】または【▶】方向へ長押しするたびに、フロントカメラの映像とリヤカメラの映像が切り替わります。

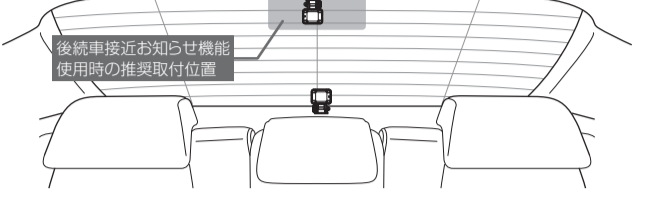


リヤカメラを取付ける

リヤカメラは必ず下記内容をご確認のうえ、リヤガラスまたはリヤトレイ等に取付けてください。またフロントカメラ取付け時の注意事項も参考にしてください。

リヤカメラを取付ける前に下記内容を必ずご確認ください。

- ・リヤガラスが可動する車両やリヤガラスにフィルムを貼っている車両の場合、リヤカメラはリヤトレイなどに取付けてください。
- ・リヤガラスにスモークフィルムが貼られた車両は、後方の道路状況が見えにくい映像が記録される場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・電動リヤサンシェードなど車両の装備と干渉しないことを確認の上、取付けを行なってください。
- ・ワイパーが装着された車両の場合、ワイパーの拭き取り範囲内に取付けてください。範囲外に取付けるとリヤガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより記録した映像が見づらくなる場合があります。
- ・両面テープの貼付面がリヤガラスの電熱線と重ならないように取付けてください。
- ・ラジオアンテナ付近にリヤカメラの取付けやカメラケーブルの配線を行うとラジオの受信感度が下がることがあります。
- ・後続車接近お知らせ機能を使用する場合、取付位置に条件があるため、リヤガラス上部・中央への取付けを推奨します。



動作を確認する

■GPSの受信を確認する

車両キースイッチを ON にし、本体起動後、GPS アイコンが表示されることを確認してください。

- ※ GPSを受信することで本体の日時が設定されます。
- ※ GPSの受信には数分〜数分かかる場合があります。

⚠ アドバイス

衛星からの信号を受信できない下記のような場所では、本製品の GPS 機能が働かないため、GPS 機能による表示が正常に動きません。(トンネル・地下道・建物の中・ビルなどに囲まれた場所・鉄道や道路の高架下・森の中など) その場合、場所を移動してから確認を行なってください。

■マニュアル録画の動作を確認する

- 1) LED ランプが緑点灯している時に、ラジオやオーディオを鳴らした状態で、【マニュアル録画】スイッチを押してください。
- 2) 「ピピッ」と音が鳴り、液晶画面の「REC」表示が「REC M」に切りかわり、音声および録画データを記録します。
- ※ マニュアル録画中は LED が緑点滅します。
- ※ 音声は自動で録音されます。

⚠ アドバイス

お買い上げ時の録音設定は【ON (大)】になっています。設定で【ON (小)】や【OFF】にすることもできます。

■記録した映像を確認する

本メインメニューから再生し、記録した映像で下記内容を確認してください。

- ※ スイッチを【▶】または【▶】方向へ長押ししてフロント/リヤの表示切替を行い、リヤカメラ映像も正常に記録されていることをご確認ください。
- ・「常時録画」内の現在の日時をもとにしたフォルダー内に、車両キースイッチ ON から OFF までの映像が正常に記録されていること。
- ・「マニュアル録画」内の現在の日時をもとにしたフォルダー内に、マニュアル録画スイッチの操作で記録した映像が正常に記録されていること。
- ・録画データに音声録音されていること。

保存先フォルダー名・ファイル名について

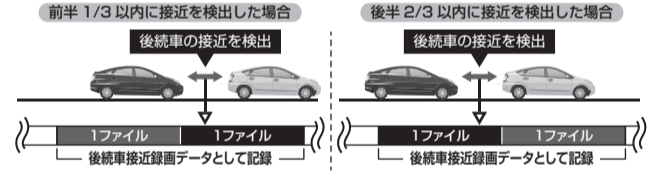
本製品が記録したデータは、各項目ごとのフォルダーへ録画を開始した日時・録画データの種類のをもとにしたファイル名で保存されます。

●フォルダー構成

SD カード	NORMAL	FRONT	フロントカメラでの全録画データを保存
		REAR	リヤカメラでの全録画データを保存
GSENSOR	FRONT	フロントカメラでの衝撃録画データを保存	
	REAR	リヤカメラでの衝撃録画データを保存	
MANUAL	FRONT	フロントカメラでのマニュアル録画データを保存	
	REAR	リヤカメラでのマニュアル録画データを保存	
R_NEAR_REC	FRONT	フロントカメラでの後続車接近録画データを保存	
	REAR	リヤカメラでの後続車接近録画データを保存	
P.NORMAL	FRONT	駐車監視モード中のフロントカメラでの全録画データを保存	
	REAR	駐車監視モード中のリヤカメラでの全録画データを保存	
P.GSENSOR	FRONT	駐車監視モード中のフロントカメラでの衝撃録画データを保存	
	REAR	駐車監視モード中のリヤカメラでの衝撃録画データを保存	

■後続車接近録画データ

後続車接近お知らせ機能の録画設定を【ON】に設定した場合、後続車が自車に接近したことを検出した時点のファイルおよび前または次のファイルを「後続車接近録画データ」として記録します。



録画領域について

- ・お買い上げ時の設定では microSD カード全体の 80% を常時録画、20% をイベント録画の領域として設定されています。
- ・設定によりイベント録画のデータ保存容量の割合を【10% / 20% / 30%】から選択することができます。
- ・イベント録画領域の設定を変更すると、常時録画の保存容量の割合も連動して変更されます。
- ・駐車監視常時録画は常時録画の領域、駐車監視衝撃録画はイベント録画の領域に含まれます。そのため駐車監視モード中に記録上限に達した場合、通常の常時録画データまたはイベント録画データの古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。



※ 録画領域を変更する場合、microSD カードの初期化が必要となり、記録されたデータが全て消去されます。変更する場合は必要に応じてパソコンなどへバックアップを行なってから設定を変更してください。

映像を撮る

録画を開始する (電源を ON にする)

車両キースイッチを ACC または ON にしてください。録画が開始されます。



⚠ アドバイス

microSD カードチェック機能

本製品では起動時に microSD カードをチェックし、カードが破損していた場合は液晶表示で異常をお知らせするため、撮り逃しを防止できます。

※ 対処方法に関しては【メッセージ確認表】を参照ください。

リヤカメラの LED ランプについて

リヤカメラの LED ランプは起動中常に緑点灯します。点灯しない場合は接続を確認してください。

録画を終了する (電源を OFF にする)

車両キースイッチを OFF にしてください。



録画面面表示



アイコン	表示内容
① FullHD HD	録画サイズの設定を表示
② Hi Lo	画質の設定 (Hi: 高画質 / Lo: 低画質) を表示
③ REC REC G REC M REC D REC T	録画種類を表示 REC: 常時録画 REC G: 衝撃録画 REC M: マニュアル録画 REC D: 後続車接近録画 REC T: タイムラプス 1 コマ
④ F H R H	HDR 機能が有効であることを表示 F: フロントカメラ R: リヤカメラ H: HDR
⑤ ALL EVENT 録画領域	上書き禁止の設定を表示 またイベント録画データが上限まで達している場合はアイコンが切り替わります。
⑥ (音波)	音声録音の設定 (ON 大 / ON 小 / OFF) を表示
⑦ (GPS)	GPS の受信状態を表示

■液晶表示の切替えについて

録画面面の表示はスイッチを【◀】または【▶】方向へ長押しするたびに、フロントカメラの映像とリヤカメラの映像が切り替わります。



リヤカメラを接続していないと映像は切り替わりません。

本体音量を調整する

- ・本体の確認音やアナウンス音、記録映像再生時の音量を【OFF/1 ~ 10】の 11段階から選択することができます。
- ・音量を OFF に設定していても、メッセージ表示時の効果音は鳴ります。
- ・お買い上げ時は【5】に設定されています。

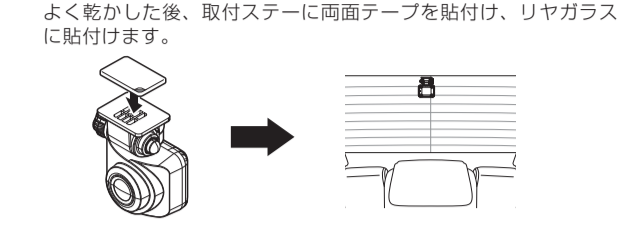
■録画方法

- 1) 録画面面上でスイッチを【▲】または【▼】方向へ長押しし、【音量調整画面】を表示する。
- 2) 【▲】または【▼】で音量を調整する。
・【▲】または【▼】の長押しで、押し続ける間 1 つずつ上げ下げすることができます。
- 3) スイッチを短く押込むと調整した音量に設定され、録画面面に戻ります。
・一定時間操作を行わないと自動的に録画面面に戻ります。(調整した音量は保存されます)

取付方法

※ 本書ではリヤガラスへの取付けを例に説明を行います。

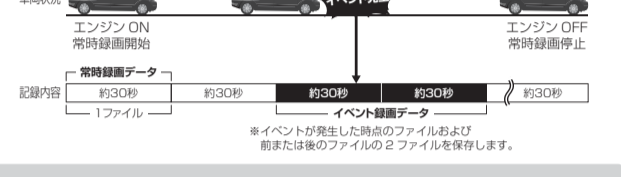
- 1) スターの角度調整ネジを緩めた状態で仮固定し、リヤカメラの取付角度を前後左右に調整します。調整後にネジを締めます。
 - ・仮固定する際は、市販の粘着力の弱いテープなどを使用してください。
 - ・スター部をリヤガラスに仮着て、液晶の映像を確認しながらリヤカメラが地面と垂直になるように角度を調整してください。



2) 付属の脱脂クリーナーで取付スターおよびリヤガラスを清掃し、よく乾かした後、取付スターに両面テープを貼付け、リヤガラスに貼付けます。

映像の記録について

本製品の記録方法は「常時録画」と「イベント録画」があります。



■事故発生時の衝撃が弱い場合、衝撃による映像の記録ができない場合があります。その際は常時録画の映像をご確認ください。

⚠ アドバイス

- ・ microSD カードの容量がいっぱいになると、常時録画、イベント録画それぞれの録画領域の古いデータから順に上書きして新しいデータを記録します。
- ・ 起動直後や録画データの記録直後にスイッチ操作や衝撃を検出すると、記録されないことがあります。
- ・ スイッチ操作または衝撃による録画データの保存中は、スイッチ操作や衝撃を検出しても、新しく記録することはできません。
- ・ LED ランプが点灯または点滅している場合は、映像を記録することはできません。設定を終了させるか、メッセージを解除してください。

常時録画について

車両キースイッチを ON にした後から車両キースイッチを OFF にするまでを、常時録画データとして microSD カードに自動で記録を続けます。

イベント録画について

イベント録画には下記の 4 種類があります。

- 【衝撃録画】.....衝撃を検出した時点のファイルを記録
- 【マニュアル録画】.....マニュアル録画スイッチを押した時点のファイルを記録
- 【後続車接近録画】.....後続車が接近したことを検出した時点のファイルを記録
- 【駐車監視衝撃録画】.....駐車監視モード中に衝撃を検出した時点のファイルを記録

●ファイル名称は以下の内容で保存されます。

録画を開始した年月日時分秒※ 録画データ種類

YYYYMMDD_hhmmss_ F/R | S/M/E | XXX|.AVI

※年月日および時分秒は本体に設定された F: フロントカメラ S: 運行開始
日時情報をもとに記録されます。 R: リヤカメラ M: 運行中 E: 運行終了

例) 2023/6/9 17:23:45 に常時録画を開始したフロントカメラ映像のフォルダー名とファイル名

NORMAL | FRONT | 20240609_172345_F_S_Nor.AVI 運行開始
20240609_172415_F_M_Nor.AVI
20240609_172445_F_M_Nor.AVI
↓
20240609_172645_F_E_Nor.AVI 運行終了

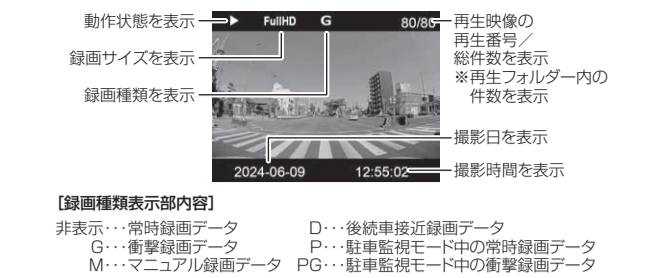
■録画データ種類別の表示について

表示	内容	表示	内容
Nor	常時録画データ	Gsn	衝撃録画データ
Man	マニュアル録画データ	Rea	後続車接近録画データ
P_Nor	駐車監視常時録画データ	P_Gsn	駐車監視衝撃録画データ

本体で映像を再生する

- 1) 録画面面上でスイッチを長く押込み、【メインメニュー】を表示する。
- 2) スイッチを【▼】方向へ 4 回押し【再生】を選択してスイッチを短く押込む。
- 3) スイッチを【▲】または【▼】方向へ押し、映像の種類を選択してスイッチを短く押込む。
【常時録画】..... 常時録画データを表示
【衝撃録画】..... 衝撃検出による録画データを表示
【マニュアル録画】..... マニュアル録画スイッチ操作による録画データを表示
【後続車接近録画】..... 後続車接近お知らせ機能による録画データを表示
【駐車監視常時録画】..... 駐車監視モードによる録画データを表示
【駐車監視衝撃録画】..... 駐車監視モードの衝撃検出による録画データを表示
- 4) スイッチを【▲】または【▼】方向へ押し、フォルダーを選択してスイッチを短く押込む。
・本体での表示は、フォルダー名称を録画した年月日で表示し、ファイル名称を録画した時分秒で表示します。
- 5) スイッチを【▲】または【▼】方向へ押し、再生するファイルを選択してスイッチを短く押込むと映像の再生が始まります。
- 6) 再生終了後はスイッチを【◀】方向へ押し、設定画面から抜けることで録画面面に戻ります。

再生画面表示



再生画面での操作



スイッチ操作	短押し	長押し
押し込む	再生 / 一時停止を行う	再生中のデータを最初から再生する
▲方向へ押す	次のデータへ進む	音量を上げる
▼方向へ押す	前のデータへ戻る	音量を下げる
◀方向へ押す	ファイルリストに戻る	フロントカメラの映像、リヤカメラの映像を切替える
▶方向へ押す	—	フロントカメラの映像、リヤカメラの映像を切替える

フロントカメラの映像とリヤカメラの映像を同時に表示することはできません。
1 画面ずつの切替表示となります。

先行車発進お知らせ機能

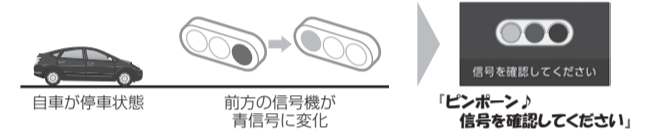
停車時に前方の車両の発進を検出した場合、メッセージ画面表示を行い、設定時間内に走行を開始しないと音声またはアラームでお知らせします。



- ・自車が停止状態の時のみ動作します。
- ・先行車との距離、位置や周囲の状況、明るさ、気象条件等によって正しく動作しない場合があります。
- ・画像情報を基に動作するため、先行車以外の周辺物や景色の変化でもお知らせを行う場合があります。
- ・先行車の形状や色により、正しく動作しない場合があります。
- ・画面表示設定が [OFF] の場合、メッセージ画面表示は行いません。

前方信号お知らせ機能

停車時に前方の信号機が青信号に変化した場合、メッセージ画面表示を行い、設定時間内に走行を開始しないと音声またはアラームでお知らせします。



- ・自車が停止状態の時のみ動作します。
- ・信号機との距離、位置や周囲の状況、明るさ、気象条件等によって正しく動作しない場合があります。
- ・画像情報を基に動作するため、信号機以外の周辺物や景色の変化でも前方信号お知らせを行う場合があります。
- ・画像情報内に複数の信号機が存在する場合、自車進行方向以外の信号機をお知らせする場合があります。
- ・信号機の種類、色、明るさにより、正しく動作しない場合があります。
- ・矢印信号などは検出できません。
- ・画面表示設定が [OFF] の場合、メッセージ画面表示は行いません。

キャリブレーションを行う

運転支援機能を使用する場合は必ずキャリブレーションを行なってください。運転支援機能が正常に機能しない場合があります。

- ・キャリブレーションは他の車両の通行の妨げにならない安全な場所で行なってください。またなるべく平坦な場所で行なってください。
- ・運転者は走行中の操作を絶対に行わないでください。必ず停車した状態で操作を行なってください。

キャリブレーション方法

- 録画面画上でスイッチを長く押し込み、[メインメニュー] を表示する。
- スイッチを▼方向へ2回押しして [運転支援機能] を選択してスイッチを短く押し込む。
- スイッチを▲または▼方向に押し、[フロントキャリブレーション] または [リヤキャリブレーション] を選択してスイッチを短く押し込む。
- [フロントキャリブレーションを行う場合] または [リヤキャリブレーションを行う場合] を参考にキャリブレーションを行なってください。

パソコンで映像を再生する

本製品で録画した映像は、弊社 HP よりダウンロードできる専用ビューソフトを使用することで、加速度などの情報と併せて映像を見ることが出来ます。
※ 専用ビューソフト以外の再生ソフトを使用すると正常に再生できない場合があります。

アドバイス

- ・ビューソフトを使用する際は、下記に対応するパソコンのスペックを推奨します。
OS：日本版版 Windows 10 / 11 ※タブレット PC を除く
CPU：Intel Core i5 プロセッサ 2.7GHz 同等以上を推奨
グラフィックス：Intel HD Graphics 620 同等以上を推奨
メモリー：8GB 以上を推奨
モニター解像度：Full HD (1920 × 1080 ピクセル) 以上を推奨
- ・パソコンの OS アップデートによりビューソフトが正常に動作しなくなった場合は最新版のビューソフトをダウンロードし、お試しください。

ビューソフトを使用する前に

本体から microSD カードを抜いてください。microSD カードを抜く際は、車両キースイッチを OFF し、本体 LED の消灯を確認後、引き抜きます。
・ microSD カードを取り出すときは、一度 microSD カードを軽く押し込み、少し飛び出してきたら引き抜く。
・ 挿入するときは、「カチッ」と音が鳴るまで挿し込んでください。



※ 挿入する時は逆の手順で行なってください。また必ず液晶側に microSD カードのコロが見えるように挿入してください。逆向きに無理矢理挿入すると破損します。

注意	
・本製品が動作中、通気孔付近やレンズ、SD カードスロット周辺、SD カードは特に高温になりやすいため、触れる際はご注意ください。	
・本製品が動作した状態 (駐車監視モード中含む) で microSD カードの抜き押しを行わないでください。microSD カードの破損や録画データの破損の原因となります。必ず車両キースイッチを OFF 後、本製品の LED が完全に消灯したことを確認し、microSD カードの抜き押しを行なってください。	
※ 駐車監視モード動作中は駐車監視モードを終了後、取り出しを行なってください。	

先行車接近お知らせ機能

設定した速度以上で走行中に前方の車両に接近したことを検出した場合、画面表示を行い、設定時間経過すると音声またはアラームでお知らせします。



- ・ GPS を受信していない状態では動作しません。
- ・自車が設定した速度以上で走行時のみ動作します。
- ・先行車との距離、位置や車線幅、周囲の状況、明るさ、気象条件等によって正しく動作しない場合があります。
- ・画像情報を基に動作するため、先行車以外の周辺物や景色の変化でもお知らせを行う場合があります。
- ・先行車の形状や色により正しく動作しない場合があります。

先行車接近継続お知らせ機能

先行車接近お知らせ後、設定している時間継続して先行車に接近し続けている場合、意図しないおり運転防止のため画面表示を行い、設定時間経過すると音声またはアラームでお知らせします。



- ・本機能は先行車接近お知らせ機能と連動しているため、先行車接近お知らせ機能が [OFF] の場合は設定できません。
- ・接近中は 10 秒ごとに 3 回までお知らせを行います。
- ・ GPS を受信していない状態では動作しません。
- ・先行車との距離、位置や車線幅、周囲の状況、明るさ、気象条件等によって正しく動作しない場合があります。
- ・画像情報を基に動作するため、先行車以外の周辺物や景色の変化でもお知らせを行う場合があります。
- ・先行車の形状や色により正しく動作しない場合があります。

フロントキャリブレーションを行う場合

- フロントカメラの角度を調整し、下記範囲内に収まる様に上下方向の調整を行います。
- フロントカメラの向きの調整およびスイッチを▲▼方向に押し、赤色の縦線が車線の中心に合うように左右方向の調整を行います。
- 手順 1、2 の調整後、スイッチを短く押し込み完了です。

リヤキャリブレーションを行う場合

- リヤカメラの取付向きを調整し、黄色の縦線が車線の中心に合う様に左右方向の調整を行います。
- スイッチを▲▼方向に押し、赤色の横線が道路の水平線に合うように調整を行います。
- 手順 1、2 の調整後、スイッチを短く押し込み完了です。

ビューソフトを使用する

1) 弊社ホームページ(https://www.e-comtec.co.jp/)のお客さまサポート、ビューソフトダウンロードページより専用ビューソフトをダウンロードします。



2) ダウンロードしたファイルを展開します。



3) 本体から抜き取った microSD カードをパソコンへ挿入します。



4) 2) で展開したフォルダー内にあるビューソフトをダブルクリックします。

5) microSD カード内の記録データが読み込まれるため、再生したいファイルを選び [再生] ボタンを押すと映像が再生されます。

専用ビューソフトの詳細に関しては弊社ホームページをご確認ください。

運転支援機能について

- ・本製品は安全で快適な運転をサポートする運転支援機能を搭載しています。
- ・本機能を使用する場合は必ずキャリブレーション(補正)を行なってください。
- ・本製品の運転支援機能は下記の 7 つの機能を搭載しています。

項目	内容
先行車発進お知らせ機能	先行車の発進を検出し、お知らせを行います。
前方信号お知らせ機能	前方の信号機が青信号であることを検出し、お知らせを行います。
先行車接近お知らせ機能	先行車への接近を検出し、お知らせを行います。
先行車接近継続お知らせ機能	先行車への接近が継続していることを検出し、お知らせを行います。
後続車接近お知らせ機能	自車への後続車の接近を検出し、お知らせを行います。
ドライブサポート機能	急加速や急減速等、一定以上の「G (加速・減速)」を検出し、お知らせを行います。
車速アラーム機能	設定した速度を超えた場合にお知らせを行います。

運転支援機能をご使用する前に下記内容をご確認ください。

- ・運転支援機能は運転者の負担軽減を目的とし、**周辺状況、走行状態の変化を補助的にお知らせする機能**です。すべての周辺状況、走行状態の変化を判断することはできません。お知らせの無にかかわらず、**必ず運転者が状況・状態を確認してください。**
- ・一部機能は GPS を受信していない状態では動作しません。
- ・本体の取付位置、角度、ガラスの汚れなどにより正しく動作しない場合があります。
- ・画像情報を基に動作するため、**天候 (雨・雪・濃霧など)、逆光などにより認識が行えずお知らせできない場合や、先行車や後続車、信号機以外の周辺物や景色の変化などでもお知らせを行わず場合があります。**
- ・運転支援機能作動時の表示画面は録画ファイルに記録されません。
- ・画面表示が [OFF] の場合、メッセージ画面表示は行いません。

ドライブサポート機能

- ・急加速や急減速等、一定以上の「G (加速・減速)」を検出した場合、音声またはアラームでお知らせします。
- ・運転状況に応じてアナウンスは異なります。

運転状況	内容
急加速時	ビッピ 急加速を検知しました。
急減速時	ビッピ 急ブレーキを検知しました。
急ハンドル時	ビッピ 急ハンドルを検知しました。



アドバイス

- ・ G センサーの設定に応じて検出レベルが変化します。
- ・アラームが鳴らないように運転をすることで、加速・減速など運転をするの目安にしてください。
- ・スイッチ操作または衝撃により映像を記録している時はドライブサポートは作動しないことがあります。

車速アラーム機能

- ・設定した速度を超えた場合に、音声またはアラームでお知らせします。
- ・警告後 1 分間は再アラームを行いません。



設定方法

本製品の設定は、本体のメインメニューから変更を行うことができます。

【おまかせ録画】、【録画サイズ】、【フレームレート】、【画質】、【イベント録画領域】設定を変更した際は microSD カードの内容をすべて初期化します。録画データが必要な場合は、必ずパソコンに保存してください。

設定画面での操作方法

- 録画面画上でスイッチを長く押し込み、設定画面の [メインメニュー] を表示する。
- [録画・録音設定] が選択されているのでスイッチを短く押し込む。
- 【おまかせ録画】 が選択されているのでスイッチを短く押し込む。
- [SD カードの初期化] 確認画面が表示されるので、初期化しても問題がなければスイッチを短く押し込む。

- スイッチを▲方向へ1回押し [おすすめ] を選択する。
- スイッチを短く押し込むと変更が決定され、項目選択画面に戻る。
- スイッチを◀方向へ長押しし、設定画面を抜けると microSD カードの初期化が開始される。
 - ・録画面画に戻らず続けて別項目を設定することもできます。
- 初期化完了後、録画面画に戻ります。

設定一覧

表内の【太字】は初期設定を示します。

項目	項目説明	設定値	設定内容
おまかせ録画設定	記録する映像の録画サイズ、フレームレート、画質を一括で設定します。 ※設定を変更すると microSD カードが初期化されます。	おすすめ	Full HD (1920x1080)、17.5fps、高画質設定で記録を行います。
		【 キレイ 】	Full HD (1920x1080)、27.5fps、高画質設定で記録を行います。
		ロング	HD (1280x720)、17.5fps、低画質設定で記録を行います。
録画サイズ設定	記録する映像の録画サイズを設定します。 ※設定を変更すると microSD カードが初期化されます。	【FullHD(1920 × 1080)】	Full HD (1920x1080) で記録を行います。
		HD(1280 × 720)	HD (1280x720) で記録を行います。
フレームレート設定	記録する映像のフレームレートを設定します。 ※設定を変更すると microSD カードが初期化されます。	17.5fps	17.5fps で記録を行います。
		【 27.5fps 】	27.5fps で記録を行います。
画質設定	記録する映像の画質を設定します。 ※設定を変更すると microSD カードが初期化されます。	タイムラプス1コマ	1 秒間に 1 枚の画像を撮影し、15fps の映像に短縮して記録します。
		【 高画質 】	高画質で記録を行います。
フロントカメラ輝度設定	フロントカメラで撮影する映像の明るさを設定します。	低画質	低画質で記録を行います。
		明 (+1)	標準より 1 段階明るい明るさで記録します。
		【 標準 】	本製品の標準の明るさで記録します。
		暗 (-1)	標準より 1 段階暗い明るさで記録します。
リヤカメラ輝度設定	リヤカメラで撮影する映像の明るさを設定します。	明 (+3)	標準より 3 段階明るい明るさで記録します。
		明 (+2)	標準より 2 段階明るい明るさで記録します。
		明 (+1)	標準より 1 段階明るい明るさで記録します。
		【 標準 】	本製品の標準の明るさで記録します。
リヤカメラ上下反転設定	リヤカメラで撮影する映像の上下方向を設定します。	暗 (-1)	標準より 1 段階暗い明るさで記録します。
		【 標準 】	取付ステーを上向きで取付けた場合に設定します。
		反転	取付ステーを下向きで取付けた場合に設定します。
		正像	後方を直接確認したような映像で表示を行います。
リヤカメラ鏡像設定	本体の液晶ディスプレイで表示するリヤカメラの映像の表示を設定します。	【 鏡像 】	後方をバックミラーで確認したような映像で表示を行います。
		OFF	音声の録音を行いません。
録音設定	記録する映像に音声の録音を行うか設定します。	【 ON (大) 】	大きめの音量で音声の録音を行います。
		ON (小)	小さめの音量で音声の録音を行います。
イベント録画領域設定	SD カード容量内におけるイベント録画のデータ保存領域の割合を設定します。 ※設定を変更すると microSD カードが初期化されます。	10%	全録画領域の 10% をイベント録画データの領域に設定します。
		【 20% 】	全録画領域の 20% をイベント録画データの領域に設定します。
		30%	全録画領域の 30% をイベント録画データの領域に設定します。
		【 OFF 】	すべての録画データを上書きします。
上書き禁止設定	録画データが SD カード容量の上限まで達した場合の動作を設定します。	イベント録画 全録画	イベント録画データのみ上書きされません。 すべての録画データは上書きされます。

機能設定

項目	項目説明	設定値	設定内容
G センサー設定	衝撃を検出する感度を前後・左右・上下それぞれ設定します。	OFF	衝撃検出での録音を行いません。
		0.1G ~ 【 0.6G 】	0.1G (敏感) ~ 1.0G (鈍感) の設定した感度で衝撃を検出し録音を行います。
タイムスタンプ設定	録画データに録画日時を埋め込むかどうかを設定します。	OFF	録画データに録画日時を埋め込みません。
		【 ON 】	録画データに録画日時を埋め込みます。

項目	項目説明	設定値	設定内容
緊急録音停止設定	緊急録音停止機能が作動する衝撃感度を設定します。 ※緊急録音停止機能に関しては【緊急録音停止設定】についてご確認ください。	OFF	強い衝撃を検出しても録音を停止しません。
		1.1G ~ 【 1.5G 】 ~ 2.0G	1.1G (敏感) ~ 2.0G (鈍感) の設定した感度で衝撃を検出し録音を停止します。
液晶明るさ設定	液晶ディスプレイの明るさを設定します。	明るい	標準より 1 段階明るい明るさで表示します。
		【 標準 】	本製品の標準の明るさで表示します。
画面表示設定	録画モード中の液晶ディスプレイの表示内容を設定します。	暗い	標準より 1 段階暗い明るさで表示します。
		OFF	液晶ディスプレイの表示を常に表示しません。スイッチを押し込んだ時のみ、液晶ディスプレイを 30 秒間表示し、消灯します。
		時計	時計とカレンダーを常に表示します。スイッチを押し込むと 30 秒間録画映像を表示します。
		【 速度運動 】	起動時に首を回らしません。 起動時に音でお知らせします。 起動時にアラームでお知らせします。
録音お知らせ設定	起動時の音を設定します。	時計	起動時に首を回らしません。
		OFF	起動時に音でお知らせします。
日時設定	本製品の日時を設定します。	音声	起動時に音でお知らせします。
		【 アラーム 】	起動時にアラームでお知らせします。
パスワード設定	設定メニューに入る際にパスワードの入力を必要とすることが出来ます。 ※ 他人に録画データを見られないようになど、プライバシーの保護やセキュリティを強化することができます。	—	設定方法は [日時を設定する] をご覧ください。※ GPS 衛星受信時に自動で補正されます。
		【 有効 】	設定メニューに入る際にパスワードの入力が必須です。
SD カードの初期化	microSD カードの録画データを消去し初期化を行います。 工場出荷状態に戻す 本製品に記録された 録画データおよび設定情報をすべて消去 します。	パスワード登録	任意の 4 桁の数字を登録します。
		—	—

駐車監視設定

項目	項目説明	設定値	設定内容
駐車監視モード設定	駐車監視モードの設定をします。	【 OFF 】	駐車監視モードを設定しません。
		ON	駐車監視モードを設定します。
駐車監視録画方式設定	駐車監視録画方式を設定します。	衝撃クイック	駐車監視モード中、衝撃録画のみ記録します。
		【 常時・衝撃 】	駐車監視モード中、衝撃録画および衝撃録画の記録を行います。
駐車監視衝撃感度設定	駐車監視モード中の衝撃を検出する感度を設定します。	タイムラプス	駐車監視モード中、1 秒に 1 枚の静止画像を記録し、実際の時間より短い動画として保存することで、長時間の常時録画および衝撃録画の記録を行います。
		0.02G ~ 【 0.08G 】 ~ 0.3G	設定した感度で衝撃を検知します。(0.02G 単位で設定可能)
駐車監視録画時間設定	駐車監視モードの動作時間を設定します。	0.02G ~ 24 時間	設定した時間で駐車監視モードを停止します。(30分・1・3・6・9・12・24 時間で設定可能)
		常時 ON	駐車監視モードを常時 ON します。
駐車監視録画時間延長設定	駐車監視モードを停止する車両(バッテリー)の電圧を設定します。	11.7V ~ 【 12.2V 】	設定したバッテリー電圧を超えると駐車監視モードを停止します。(0.1V 単位で設定可能)
		ON (録画停止)	次回起動時にアラウンスを行い、上書きを行わないように 録音を停止 します。
駐車監視録画お知らせ設定	駐車監視中に衝撃録画を行なった場合の本体の動作、お知らせ方法を設定します。	【 ON (お知らせのみ) 】	次回起動時にアラウンスを行わず、録音を開始します。
		OFF	次回起動時にアラウンスを行わず、録音を開始します。

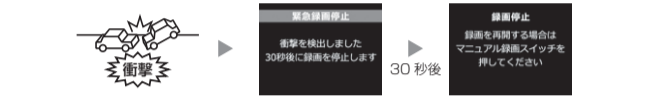
項目	項目説明	設定値	設定内容
駐車監視降車キャンセル設定	車両から降車する際の振動や衝撃を検出して、駐車監視衝撃録画データとして記録を行う待ち時間を設定します。	1分	車両キー OFF 後、1分間衝撃を検出しても記録を行います。
		[3分]	車両キー OFF 後、3分間衝撃を検出しても記録を行います。
		5分	車両キー OFF 後、5分間衝撃を検出しても記録を行います。
駐車監視降車キャンセル設定	車両から乗車する際の振動や衝撃を検出して、駐車時衝撃検出アナウンスを行わない時間を設定します。 ※アナウンスのみキャンセルされ、駐車監視衝撃録画データは記録されます。	1分	車両キー ON 後、1分間衝撃を検出してもアナウンスを行います。
		[3分]	車両キー ON 後、3分間衝撃を検出してもアナウンスを行います。
		5分	車両キー ON 後、5分間衝撃を検出してもアナウンスを行います。

項目	項目説明	設定値	設定内容
フロントカメラリブレーション	—	—	フロントカメラのリブレーションを行います。
リヤカメラリブレーション	—	—	リヤカメラのリブレーションを行います。
先行車発進お知らせ設定			
お知らせ設定	お知らせする方法を設定します。	[OFF]	先行車発進お知らせを行いません。
		ON (音声)	先行車発進お知らせを音声で行います。
		ON (アラーム)	先行車発進お知らせをアラームで行います。
警報時間設定	検出してからお知らせを行うまでの時間を設定します。	検出時お知らせ	前方車両の発進を検出し、メッセージ画面の表示と同時にお知らせを行います。
		[3秒後]	前方車両の発進を検出し、メッセージ画面の表示から3秒間走行を開始しないとお知らせを行います。
		5秒後	前方車両の発進を検出し、メッセージ画面の表示から5秒間走行を開始しないとお知らせを行います。
前方信号お知らせ設定			
お知らせ設定	お知らせする方法を設定します。	[OFF]	前方信号お知らせを行いません。
		ON (音声)	前方信号お知らせを音声で行います。
		ON (アラーム)	前方信号お知らせをアラームで行います。
警報時間設定	検出してからお知らせを行うまでの時間を設定します。	検出時お知らせ	青信号を検出し、メッセージ画面の表示と同時にお知らせを行います。
		[3秒後]	青信号を検出し、メッセージ画面の表示から3秒間走行を開始しないとお知らせを行います。
		5秒後	青信号を検出し、メッセージ画面の表示から5秒間走行を開始しないとお知らせを行います。
先行車接近お知らせ設定			
お知らせ設定	お知らせする方法を設定します。	[OFF]	先行車接近お知らせを行いません。
		ON (音声)	先行車接近お知らせを音声で行います。
		ON (アラーム)	先行車接近お知らせをアラームで行います。
警報時間設定	検出してからお知らせを行うまでの時間を設定します。	検出時お知らせ	前方車両への接近を検出し、メッセージ画面の表示と同時にお知らせを行います。
		[3秒後]	前方車両への接近を検出し、メッセージ画面の表示から3秒間走行を開始しないとお知らせを行います。
		5秒後	前方車両への接近を検出し、メッセージ画面の表示から5秒間走行を開始しないとお知らせを行います。
走行速度設定	お知らせおよび録画を行う自車の走行速度を設定します。	50～ [90]	設定速度以上で走行時にお知らせを行います。

先行車接近お知らせ設定	先行車接近お知らせ設定	先行車接近お知らせ設定	先行車接近お知らせ設定
お知らせ設定	お知らせする方法を設定します。	お知らせ設定	お知らせする方法を設定します。
警報時間設定	検出してからお知らせを行うまでの時間を設定します。	警報時間設定	検出してからお知らせを行うまでの時間を設定します。
走行速度設定	お知らせおよび録画を行う自車の走行速度を設定します。	走行速度設定	お知らせおよび録画を行う自車の走行速度を設定します。

緊急録画停止設定について

- 緊急録画停止機能とは、事故などで強い衝撃を検出した後の約 30 秒後に、自動で録画を停止し、重要なデータの書き込みを防止する機能です。
 - ※ 前後・左右・上いずれかの衝撃が設定値を超えた際に録画を停止します。
- 衝撃を検出する感度を [OFF/1.1G (敏感) ～ 2.0G (鈍感)] から選択できます。
- お買い上げ時は [1.5G] に設定されています。



マニュアル録画中に緊急録画停止機能が作動した場合、マニュアル録画データとして microSD カードに保存されます。

<div><div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div></div>	<div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div>
--	---

<div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div>

マニュアル録画中に緊急録画停止機能が作動した場合、マニュアル録画データとして microSD カードに保存されます。

<div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div>

<div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div>

マニュアル録画中に緊急録画停止機能が作動した場合、マニュアル録画データとして microSD カードに保存されます。

マニュアル録画中に緊急録画停止機能が作動した場合、マニュアル録画データとして microSD カードに保存されます。

<div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div>

マニュアル録画中に緊急録画停止機能が作動した場合、マニュアル録画データとして microSD カードに保存されます。

<div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div>

<div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div>

マニュアル録画中に緊急録画停止機能が作動した場合、マニュアル録画データとして microSD カードに保存されます。

マニュアル録画中に緊急録画停止機能が作動した場合、マニュアル録画データとして microSD カードに保存されます。

<div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div>

マニュアル録画中に緊急録画停止機能が作動した場合、マニュアル録画データとして microSD カードに保存されます。

マニュアル録画中に緊急録画停止機能が作動した場合、マニュアル録画データとして microSD カードに保存されます。

メッセージ	対処方法
<div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div>	

※ 上記メッセージ画面表示中は、LED ランプの点灯減でお知らせします。

LED ランプ確認表

本体動作時の LED ランプの確認表です。

フロントカメラ LED 表示	リヤカメラ LED 表示	本体動作	内容
緑点灯		録画中	録画中
緑点滅		録画中	・イベント録画中 <ul style="list-style-type: none">・駐車監視モード中の衝撃録画中
早い緑点滅	緑点灯	録画中	駐車監視降車キャンセル中 (衝撃クイック録画設定時以外)
緑 3 回点滅		録画中	駐車監視モード動作中 (衝撃クイック録画設定時以外)
早い緑点滅		録画停止	駐車監視降車キャンセル中 (衝撃クイック録画設定時)
橙 3 回点滅		録画停止	駐車監視モード動作中 (衝撃クイック録画設定時)
橙点灯		録画停止	・起動中 ・設定モード中 ・再生モード中 <ul style="list-style-type: none">・本体温度の高温または低温による動作停止中
橙点滅	緑点灯	録画停止	・メッセージ表示中 ・緊急録画停止中
緑・橙交互点滅		録画停止	本体ソフトウェアのアップデート中

項目	項目説明	設定値	設定内容
お知らせ設定	お知らせする方法を設定します。	[OFF]	先行車発進お知らせを行いません。
		ON (音声)	先行車発進お知らせを音声で行います。
		ON (アラーム)	先行車発進お知らせをアラームで行います。
警報時間設定	検出してからお知らせを行うまでの時間を設定します。	検出時お知らせ	前方車両の発進を検出し、メッセージ画面の表示と同時にお知らせを行います。
		[3秒後]	前方車両の発進を検出し、メッセージ画面の表示から3秒間走行を開始しないとお知らせを行います。
		5秒後	前方車両の発進を検出し、メッセージ画面の表示から5秒間走行を開始しないとお知らせを行います。

項目	項目説明	設定値	設定内容
先行車接近お知らせ設定	先行車接近お知らせ設定	先行車接近お知らせ設定	先行車接近お知らせ設定
お知らせ設定	お知らせする方法を設定します。	お知らせ設定	お知らせする方法を設定します。
警報時間設定	検出してからお知らせを行うまでの時間を設定します。	警報時間設定	検出してからお知らせを行うまでの時間を設定します。
走行速度設定	お知らせおよび録画を行う自車の走行速度を設定します。	走行速度設定	お知らせおよび録画を行う自車の走行速度を設定します。

先行車接近お知らせ設定	先行車接近お知らせ設定	先行車接近お知らせ設定	先行車接近お知らせ設定
お知らせ設定	お知らせする方法を設定します。	お知らせ設定	お知らせする方法を設定します。
警報時間設定	検出してからお知らせを行うまでの時間を設定します。	警報時間設定	検出してからお知らせを行うまでの時間を設定します。
走行速度設定	お知らせおよび録画を行う自車の走行速度を設定します。	走行速度設定	お知らせおよび録画を行う自車の走行速度を設定します。

- 別売オプションの HDROP-14 (駐車監視・直接配線コード) を使用することで、車両キースイッチ OFF 後も電源供給を行い、録画を行うことができます。
- HDROP-14 (駐車監視・直接配線コード) 接続後はメインメニューより [駐車監視モード] の設定を変更してください。接続しただけでは駐車監視モードには移行しません。
- 別売オプションの HDROP-15 (直接配線コード) で接続しても駐車監視モードを使用することはできません。

アドバイス

駐車監視モードを使用する場合は、メインメニューの [本体情報] から本製品への入力電圧を確認し、常時電源線の接続箇所と電圧の差が大きい場合は、常時電源線の接続確認やアース接続箇所の変更を行ってください。

<div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div>

駐車監視モードは車両の常時電源を使用しているため、車両バッテリーへの負荷がかかります。定期的な車両バッテリーの点検を行ってください。

次のような車両バッテリー上りの原因になりますので使用を控えてください。(毎日乗車しない・1日の走行が1時間以下・車両バッテリーを1年以上使用している)
・駐車監視モードの使用後は車両バッテリー電圧が低下した状態のため、必ずエンジンを始動し、車両バッテリーの充電を行ってください。車両バッテリー上りの原因となります。
・車両バッテリー上りに関しましては、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
長時間録画を行う場合、microSD カードの容量や本体の設定により、録画データが書き込まれる場合がありますのでご注意ください。

<div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div>

駐車監視モードは車両の常時電源を使用しているため、車両バッテリーへの負荷がかかります。定期的な車両バッテリーの点検を行ってください。

駐車監視モードは車両の常時電源を使用しているため、車両バッテリーへの負荷がかかります。定期的な車両バッテリーの点検を行ってください。

駐車監視モードは車両の常時電源を使用しているため、車両バッテリーへの負荷がかかります。定期的な車両バッテリーの点検を行ってください。

<div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div>

駐車監視モードは車両の常時電源を使用しているため、車両バッテリーへの負荷がかかります。定期的な車両バッテリーの点検を行ってください。

<div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div>

<div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div>

駐車監視モードは車両の常時電源を使用しているため、車両バッテリーへの負荷がかかります。定期的な車両バッテリーの点検を行ってください。

<div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div>

<div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div>

駐車監視モードは車両の常時電源を使用しているため、車両バッテリーへの負荷がかかります。定期的な車両バッテリーの点検を行ってください。

メッセージ	対処方法
<div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div>	

※ 上記メッセージ画面表示中は、LED ランプの点灯減でお知らせします。

メッセージ	対処方法
<div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div>	

※ 上記メッセージ画面表示中は、LED ランプの点灯減でお知らせします。

メッセージ	対処方法
<div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div>	

<div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div>

項目	項目説明	設定値	設定内容
先行車接近お知らせ設定	先行車接近お知らせ設定	先行車接近お知らせ設定	先行車接近お知らせ設定
お知らせ設定	お知らせする方法を設定します。	お知らせ設定	お知らせする方法を設定します。
警報時間設定	検出してからお知らせを行うまでの時間を設定します。	警報時間設定	検出してからお知らせを行うまでの時間を設定します。
接近時間設定	お知らせを行う前方車両への接近時間を設定します。	接近時間設定	お知らせを行う前方車両への接近時間を設定します。

<div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div>

<div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div>

<div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div>

<div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div>

<div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div>

<div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div>
